



G空間EXPO2018
日本写真測量学会・日本リモートセンシング学会
シンポジウム

「衛星地球観測の将来計画」

2018年11月16日(金) 10:30~12:30
日本科学未来館 7階会議室
(コンファレンスルーム天王星)



地球観測の将来構想に関わる 世界動向の分析

気象研究ノート 第234号

編集

TF 地球科学研究高度化ワーキンググループ

日本気象学会

「世界的には、地球温暖化や全球規模の環境問題に対応するために、地球観測衛星計画が非常に活発に検討・立案されており、世界55機関で企画されている地球観測衛星計画は130を超える。」
（「はじめに」より）

プログラム

(敬称略)

- 10:30-10:35 「趣旨説明」 (一財) リモート・センシング技術センター 福田 徹
- 10:35-10:55 「JAXAの地球観測衛星とその利用計画」
宇宙航空研究開発機構 第一宇宙技術部門
衛星利用運用センター センター長 内藤 一郎
- 10:55-11:15 「NASA Earth Science Division Decadal Implementation Overview」
NASA アジア担当代表 ガーヴィー マッキントッシュ
- 11:15-11:35 「欧州コペルニクスの動向」
(一財) 宇宙システム開発利用推進機構利用
技術本部利用研究部 部長 立川 哲史
- 11:35-11:55 「超小型衛星Planetの利用状況と今後の展望」
(株)衛星ネットワーク地球観測衛星プロジェクト 主幹 澁谷 恵
- 11:55-12:15 「衛星地球観測ミッション公募について」
千葉大学 環境リモートセンシング研究センター 准教授 本多 嘉明
- 12:15-12:30 「総括」 東京大学 先端科学技術研究センター 教授 岩崎 晃